



平時の救急を扱う救命講習では教えない、特有の救命処置があります
突然死をもたらすクラッシュ症候群にご用心



クラッシュ症候群は、挫滅症候群とも言います。瓦礫等で挫滅した筋肉から発生した毒性物質が、救出による圧迫開放で血流に乗って全身に運ばれ、臓器に致命的な損害を及ぼし、死亡その他重篤な症状になるものです。

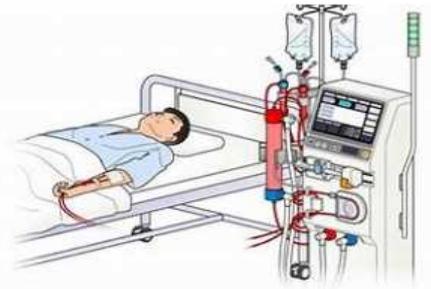
心臓と腎臓への多臓器不全をもたらします。

市民ができるクラッシュ症候群への応急処置



1つでも該当したら

- ✓ 2時間以上はさまれている
- ✓ パンパンに腫れ点状出血(筋挫滅)
- ✓ 尿が茶褐色に変色(ミオグロビン尿)
- ? 挟まれた部分の感覚がない事も
- ? 挟まれた部分が動かない事も



- 瓦礫や重量物に2時間以上挟まれている(筋肉壊死の時間的目安)
- 挫滅部位がパンパンに腫れたり、点状に出血している
- 茶褐色(ワインレッド色)に変色した尿が出る(ミオグロビン尿)
- 挟まれた部分の感覚がない(知覚麻痺)
- 挟まれた部分が動かない(運動麻痺)



上記は、一般市民でも容易にわかる兆候です。もし上記の兆候が見られたら、**直ちに、災害拠点病院か血液透析ができる病院へ搬送**しましょう。クラッシュ症候群であれば、輸液・薬物投与・筋膜切開・血液中の有害物質の透析除去を必要とする上、被災地外の高次医療機関への広域医療搬送を行う場合もあります。**避難所や応急救護所、手近な病院へ運ぶ程度では対処できないのです。**

- 安全な搬送法は、**上級救命講習**でしか習う機会がないので、ぜひ受講を

心肺蘇生などの救命法は、クラッシュ症候群の根本処置にはならない